

2月例会



『明日も働きたくなる企業づくりを目指して』

【報告者】 株式会社イル
代表取締役 樋口 康治氏



2月例会では『労使見解』をテーマに樋口さんに報告をしていただきました。起業当時は、「社長になることが目的で、自分が儲けることしか頭になかった」と振り返る樋口さんでしたが、経営危機を社員と一丸になって乗り越えたことで、大切なものは「社員を幸せにする経営」であると考えが変化し、また、自身の変化に追従するかのように社員が変化し、会社が変化していく報告がとても印象深かったです。

樋口さんは自身の経営体験や同友会活動を通じて学んだのは、経営者の責任はどんなに環境が厳しくても会社を維持発展させること。そのためには、社員が働きやすい環境を作り、経営姿勢を正し、公平・公正に社員に接して信頼関係を築くこと、である。と報告でおっしゃられました。

「信頼関係を築くこと」言葉では簡単ですが、経営者と社員といった立場の違い、性格の違い、考え方の違い等々、自分自身を含めどうしても好き嫌いが出てしまいかちなものです。報告の中で語られた ①平等な人間観 ②違いの認識 ③素晴らしいの発見 経営者としても人としても大切な価値観だと改めて認識するとともに、その姿勢について学ぶことの多い例会となりました。2月例会のテーマの労使見解は、中同協が発行している「人を生かす経営」で詳しく解説されています。興味がある方はぜひ、事務局にお問い合わせください。個人的には、とてもおススメの一冊です。

2月例会座長 得能 芳樹



新型コロナウイルスで影響を受けた経営者のみなさんへ！

経営者と社員の健康・生命と企業を守るために全力をあげましょう！

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員企業の経営に影響が出始めています。感染症の影響を受けた事業主を対象に、日本政策金融公庫、信用保証協会、商工会議所、中小企業団体中央会などでは相談窓口を開設しています。資金繰り支援としてセフティネット貸付などの融資制度を活用する対策が打ち出されるなど、各金融機関の情報収集と早期の対策を行って下さい。また、雇用調整助成金対策を拡大するなど、企業を支援する特例コースも設けられました。企業を守り、社員を守るために、速やかに行動しましょう！

NO. 68

広報

ちくし

2020・3月

中小企業家同友会筑紫支部



糸島市 笹山公園

